

案内板

ほたるの森の中では、樹木や花や虫、小鳥のさえずりやせせらぎが楽しめます。



葉っぱの真ん中の赤いものは、アキニレ・ハフクロ・フシ。虫こぶです。中に、ワタムシが入っています。



セイヨウアジサイ・ガクアジサイ等紫陽花の色と形に彩られます。



ホタルブクロ(蛍袋)
花言葉は、忠実・正義



ウワミズザクラの実。
白い花のひと月後の実。秋にカラフルに熟した実は、果実酒にしたり、青い実は、不老不死の妙薬「杏仁子」とか？！



ハゲロトシホ



マユミの青い実。
固い木質のこの木で弓を作ったことから、この名になったとか。日なたなら、秋にピンク色の実に。美しい紅葉も実も楽しめます。



トピック

”ゲンジボタルが、カワニナを絶滅させることはあるのか”

古川 道夫

不可能に近いと思われます。ホタルの仲間が地球上に出現して、数千万年たっています。また、カワニナなどの巻貝の仲間が地球上に現れて数千万年から一億年以上たっていると考えられます。双方ともに現在地球上に生息しているということは、それぞれの勢力の均衡をたもちながらうまくやってきたわけです。ですからこの先も両者はのりくりと生存競争をしていくのでしょうか。ただし、人間が関係すると注意が必要です。

カワニナの生息する河川にホタル類の幼虫を大量に、かつ執拗に放流して徹底的にカワニナを捕食させ絶滅に追い込むことは可能と考えます。人間は他の多くの生物を直接的または間接的に絶滅に追いやってこの地球にはびこってきました。人間の手にかければ種や属レベルで生物を絶滅においやることは案外たやすいと、歴史は、私たちに教えてくれています。生物多様性とはなんであるか、生息環境の回復とは何を意味するのか、もう一步、つきつめて考えてみましょう。



➔ 大好物のピワの実を夢中になって食べるカワニナたち

お知らせ

2021年度 ホタル講座 受講生募集

ゲンジボタルの飼育や生態を学び、体験します。

日程：全8回

【7/3(土), 8/7(土), 9/11(土), 10/2(土), 11/6(土)
12/4(土), 2/5(土) 各日とも13:30~15:00
3月下旬~4月上旬の雨の夜 20:00~21:30】

場所：ほたるの森資料館とほたる河川

対象：守山内在住在勤通学の成人

定員：先着10名 (期間内、中途参加も可能)

参加費：3,000円 ★お問合せは、資料館へ。

◎ 特別企画 自由研究相談室 参加無料

資料館の研究員に何でも相談できます。

日時：8月1日(日) 午前・午後

対象：守山市内の小中学生

内容：ほたるや生物のことならなんでもOK

定員：申込先着で、午前・午後とも5名まで

申込：資料館に電話で事前予約必要。

申込の時、相談の内容を簡単に説明してください。

◎ 夏休み ほたる文庫

期間：7月18日(土)~8月9日(日)

展示室でほたるの本や面白い本がたくさん読めます。

守山市 ほたるの森資料館

休館：毎週火曜日

〒524-0051 守山市三宅町10番地(市民運動公園内)

TEL/FAX : (077)583-9680

e-mail: hotaru@lake-biwa.net

URL: www.lake-biwa.net/hotarunomori/



← HPへはこちらからも